

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
(旧 名古屋第二赤十字病院)で
診療を受けられる／受けられた患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	プラチナ製剤投与患者を対象とした選択的 NK1 受容体拮抗型制吐剤ホスネツピタントの有効性、安全性の検討に関する研究		
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日 ～ (西暦) 2026年 3月 31日		
研究実施診療科	呼吸器内科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2024年 7月 5日	
	院長が研究実施を許可した日	2024年 7月 8日	
対象となる方	(西暦) 2020年1月1日 ～ (西暦) 2023年12月31日に、当院呼吸器内科において、シスプラチンもしくはカルボプラチンを含む抗悪性腫瘍剤と、制吐薬としてホスネツピタント、アプレピタント、ホスアプレピタントのいずれかを投与され、治療や経過観察をされた方		
主たる研究実施機関	名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 (研究代表者氏名：長谷哲成)		
共同研究機関	別紙【研究組織】参照		
当院の研究責任者	所属	呼吸器内科	氏名 小沢 直也
研究の意義・目的	切除不能進行/術後再発肺がんと診断され、1 サイクル目のシスプラチンもしくはカルボプラチンを投与された患者さんを対象に、5-HT3 受容体拮抗薬及びステロイドを併用し、ホスネツピタントを単回点滴静注したときの、アプレピタント及びホスアプレピタントと比較して有効性、安全性を検証することを目的としています。		
研究の方法	通常の診療で記録された電子カルテ情報を収集し統計学的に検討することで、上記に関して調べます。		
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは切り離した状態で使用します。(年齢、体重、性別等の患者さんの基本情報、治療状況、臨床検査、化学療法の治療効果および有害事象)		
診療情報等の他機関への提供方法	研究事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対照表は、名古屋大学の研究責任者が保管・管理		

	します。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	本研究は、名古屋大学の運営費交付金を研究資金として行われますが、当院での研究実施においては、特に資金を必要とせず、外部からの資金提供もありません。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 呼吸器内科 小沢 直也 電話 052-832-1121 (代表)

《別紙》

【研究組織】

1. 研究代表者

名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科 長谷哲成

2. 共同研究者

所 属	責 任 者
半田市立半田病院・呼吸器内科	部長・小林弘典 医師・後藤希
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院・呼吸器内科	医長・小沢直也
JA 岐阜厚生連 久美愛厚生病院・呼吸器内科	第一部長・加藤俊夫